

詩歌集『桜咲く園』を読まれて

【感想の御言葉】

■高市 早苗 先生からのお手紙

JDR総合研究所 代表 天川貴之先生

残暑の候 ご機嫌いかがでいらっしゃいますか。この度は、ご著書「桜咲く園～ソウルメイトとツインソウル～」をご恵贈賜り、本当にありがとうございました。

天川先生の豊かな感性があふれる素敵な詩歌集にも心打たれました。今後のご著作を楽しみに、更なるご活躍を祈念申し上げます。

お心がけいただいておりますこと、重ねて感謝申し上げますとともに、これからも一層のご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

す。ご多幸とご健康、JDR総合研究所のご発展を心よりお祈り申し上げます。

【講評】

著者が、十七才の時に書いた純粋な恋愛感情を現した詩(蒼い光・心の森)と、短歌として現した歌集(桜咲く園)ですが、いずれも現代では歌われることの少ない恋愛讃歌です。

詩集は、メインテーマがソウルメイトであり、この詩集を通して共感した人々が、ソウルメイトとして出会い、結びつくことがよく実感できます。透き通るような壮大なスケールで愛を表現する美しい詩ですが、『蒼い光』の中の「透明な場所」「ツインソウル」などには、共感する人も多いでしょう。

『心の森』の「エデン」「繊細な時代」「月の眼差し」は、表現の美しさも秀逸です。

歌集は、三十一文字の中に、様々な心模様
が見事に構築されています。

健友館 編集長 水沢 溪

この「桜咲く園」～ソウルメイトとツインソウル～という詩歌集は、ゲーテの詩集のように時代の扉を広げる作品であると思っています。世に出て、多くの方々に読んでいただきたいと切望いたしております。

健友館 阿部晴美